|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （１３）どっちのお店に行く？ | ４ | 比べて、選ぼう！  ～思考力・判断力・表現力育成～ |
| □封筒⑬　□封筒⑮[共通]　□ワークシート（13） | |

|  |
| --- |
| １　この学習のねらいについて |
| 消費者は、店舗選びに際し、「家からの距離」や「販売方法」の他、その店舗で買える商品の「価格・鮮度・品質・種類」などを、総合的に考え、購入する店舗を決定しています。その中で、店舗の特色に関する判断基準と買った商品により得られる満足度は、個々の消費者によって異なり、個々人の価値観が大きく影響します。また、このことは、一人の消費者の中でも、その時おかれている状況（買い物にかけられる時間の有り無し・購入商品・予算の違いなど）により、異なります。  本教材では、２つの店舗を比べ、店舗により違いがあることに気付かせます。そして、店舗選びは距離だけでなく消費者によってその店の何に満足するかにより異なるということから、選ぶ店も違ってくるということを実感させていきます。Ｃの子供には、1つしか買わないときとか、時間がない時など、条件が変わっても、同じ店舗を選択するか、などを考えさせることで、思考力や判断力を向上させていきます。 |

|  |  |
| --- | --- |
| ２　学習前の準備と指導の見通し等 | |
| 封筒⑬：[１]がまぐちの家  ・[２]スーパーB  封筒⑮：[１]スーパーA・[２]がまぐちくん  ・[５]家庭学習ﾏｰｸ・[６]500円  ワークシート：（１３）  ⑬[１]がまぐちの家　⑬[２]スーパーB　 ⑮[１]スーパーA    ⑮[２]がまぐちくん　⑮[５]家庭学習ﾏｰｸ　　⑮[６]500円  ※買いに行くもの（ドーナツ・ポテトチップス・牛乳）の画像はＣＤに入っています。 | 活用場面：生単・家庭 |
| ○指導の見通し○  がまくんは、お家の人から５００円をもらって、自分のおやつと牛乳を買いに行くことになりました。スーパーAか、スーパーBか、どちらで買おうか考えています。  ↓  店舗によって色々な点で違う。  ↓  自分の置かれた状況や、買う物、持っているお金の額によって、どこで買うか考える必要がある。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ３　児童の実態と段階別目標 | | |
|  | 学習前の子供の様子 | 目標 |
| A | ・ひとりで買い物をしたことがないため、店舗選びもしたことがない。 | ・店舗によって家からの距離（遠い・近い）が異なり、売っている商品の価格も違うということに気付く。 |
| B | ・ひとりでの買い物は、行き慣れた店舗でしか、したことがない。 | ・自分の行き慣れた店は、何がよいのか見つけようとする。  ・他の店に家族と行って、商品や販売方法などの違いを比べることができる。 |
| C | ・家の人が買い物によって店舗を変えていることに気付いている。 | ・家の人に、買い物によって店舗を変える理由を聞くことができる。  ・店舗を自分なりの価値観で選ぶことができる。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 指導例 | |
| 活　動　内　容 | 指導のポイント |
| 1. 本時の学習内容を知る。   がまくんは、お家の人から５００円をもらって、自分のおやつと牛乳を買いに行くことになりました。スーパーは２軒。どちらで買おうか迷っています。   1. 学習問題を知る。   どっちのお店に行きますか？   1. お店の違いを比べる。  |  |  |  | | --- | --- | --- | | スーパーA |  | スーパーB | |  | １　近いのは？ | ○ | | ○ | ２　商品の種類が多いのは？ |  | |  | ３　安いのは？ | ○ | | ○ | ４　割引があるのは？ |  |  1. 違いを比べながら自分だったらどちらのスーパーマーケットにするかを選ぶ。   ・スーパーAです。種類が多くて選べるからです。  ・スーパーBです。安さを優先します。   1. まとめをする。   同じ商品でもお店によって値段や商品の数が違う。  自分の都合に合わせてお店を選ぶと良い。 | □絵カードを提示して話を聞かせ、子供にイメージをもたせましょう。  □お店の違いは、まず自分の考えでスーパーAかスーパーBを選ばせ、その後に子供に発表させましょう。  □スーパーAもスーパーBもほぼ同じだけよさがあるので、自分は何を大切にして店を選ぶか説明させましょう。  子供の実態に応じて、おつかいのお金や内容を変えてあげましょう。①距離と②種類と③安さの3つ位で選んでもよいでしょう。  **ポイント**  K:\教材データ\ポイントの指.png  子供の住む地域の実情に応じて、コンビニ・ショッピングモール等を例に学習させてもよいでしょう。  **ポイント**  K:\教材データ\ポイントの指.png  時間や買いたい商品、予算に応じて、違う店舗を選ぶとよいことを分からせるとよいでしょう。  **ポイント**  K:\教材データ\ポイントの指.png |







・お店によって色々なところがちがう

・自分のつごうに合わせてお店をえらぶとよい





|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| スーパーA |  | スーパーB |
|  | １　ちかいのは？ | ○ |
| ○ | ２　しゅるいのおおいのは？ |  |
|  | ３　やすいのは？ | ○ |
| ○ | ４　わりびきがあるのは？ |  |

どこで買おうかな？



|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| どっち | | りゆう |
| スーパーA | |  | | --- | | 人 | | ・しゅるいがおおくてえらべるから  ・わりびきがあるから |
| スーパーB | |  | | --- | | 人 | | ・やすい  ・近いので、いつも行って慣れているから |

お家の人とやってみましょう。

どっちのお店に行きますか？